

資源物中間処理施設の操業状況について(令和3年8月分)

1. 容器包装プラスチック・PETボトルの搬入

種別	小平市		東大和市		武蔵村山市		合計	
	kg	台	kg	台	kg	台	kg	台
容器包装プラスチック	192,120	352	81,130	151	70,970	53	344,220	556
PETボトル	65,040	189	20,970	64	20,200	19	106,210	272
合計	257,160	541	102,100	215	91,170	72	450,430	828
1日平均	約11,689	24.6	約4,641	9.8	約9,329	3.3	約20,474	37.6

※搬入は土日を除いた 22 日間

2. ベール品・残渣等の搬出

種別	kg	台
容器包装プラスチック	288,280	36
PETボトル	79,630	11
可燃残さ	68,950	196
不燃残さ・禁忌品	1,270	22
合計	438,130	265

3. 搬出先及び資源化手法

(1) 容器包装プラスチック

搬出先(再資源化事業者)・・・日本製鉄 君津プラスチック再商品化工場(千葉県)

資源化手法・・・コークス炉化学原料化(ケミカルリサイクル)

コークス炉でプラスチックを熱分解し、炭化水素油、コークス、コークス炉ガスを生成し、それぞれ化学原料、製鉄原料、発電、水素ガスなどへ有効利用されている。

(2) PETボトル

搬出先(再資源化事業者)・・・ジャパンテック(株)東日本PETボトルMRセンター(茨城県)

資源化手法・・・マテリアルリサイクル

不適物を取り除き、粉碎し、フレーク状にする。また、フレークを熱で溶かし、粒上のペレットにして、再商品化製品利用事業者販売され、再生ペット製品(ペットボトル、日用品、繊維等)に再利用されている。

(3) 可燃残さは、衛生組合の焼却施設に運び、焼却処分している。

(4) 不燃残さは、衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設に運び、破碎処理している。

(5) 禁忌品は、衛生組合で保管後、まとめて処分している。